

平成30年度地域少子化対策重点推進事業実施計画書（都道府県分）個票

都道府県名 高知県
 本事業の担当部局名 地域福祉部少子対策課

事業メニュー	優良事例の横展開支援
区分	結婚に対する取組
関連事業メニュー	1-(1) 結婚支援の取組を行う結婚支援センター等の開設・運営、同センター等におけるマッチングシステムの構築・高度化等により、各地域における結婚支援の基盤を整備するための取組（ただし、施設整備に係る部分は除く。）
個別事業名	高知県出会い・結婚・子育て応援窓口運営業務
所要見込額	30,044千円 補助率： 1/2 （交付金所要額： 15,022千円）
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、若い世代の「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大することを基本目標の一つとし、「(ア)より多くの方が、より希望する時期に安心して『出会い・結婚』『妊娠・出産』『子育て』ができる社会の構築」と「(イ)女性の活躍の場の拡大」で構成している。</p> <p>また、(ア)の具体的な施策として、</p> <p>①より多くの方の「出会い・結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をより早くかなえる</p> <p>②理想とする子どもの人数の希望をよりかなえる</p> <p>の取組を行うこととしており、本事業については、上記取組の①に位置づけられる。</p>
個別事業の内容	<p>【これまでの取組・現状】</p> <p>本県では、少子化対策の「未婚化・晩婚化対策」として、出会いや結婚への支援を望んでいる独身の方の「より多くの「結婚」への希望を、より早く叶える」よう、独身者の実情に沿った総合的な結婚支援として、「①出会いの機会の拡充」、「②きめ細かな支援」を柱に取組みを進めている。</p> <p>本事業は、その中核となる事業で、マッチングシステム、出会いイベント、婚活サポーターの3事業を「出会い・結婚・子育て応援窓口」において実施している。</p> <p>マッチングシステムでは、自分に合った相手より効率的に探せる仕組みとして、平成28年1月に「こうち出会いサポートセンター」を開設し、現在高知市、安芸市、四万十市の3カ所で運営を行っている。平成29年度は、高知市の登録閲覧ブースの増設（3→4）とビッグデータの分析手法の導入を行い、独身者の利便性の向上を図った。</p> <p>出会いイベントでは、民間企業の取り組みを活性化するため、平成29年度はCSV・CSR活動として、地域の独身者向けに地元施設や店舗などを使って実施する交流会への補助制度を創設（県費負担）するとともに、よくあるトラブル事例等交流会開催時の注意事項について情報共有を図る研修を実施し、交流会の量と質の拡充を図った。</p> <p>婚活サポーターについても、養成研修とスキルアップ研修によりサポーターの量と質の拡充を図っている。</p> <p>しかしながら、平成29年度に18～34歳の県民4,000人を対象に実施した「出会いや結婚への支援を希望する独身の方を応援するための県民意識調査」によると、8割以上の人が「いずれ結婚するつもり」であり、そのうち現在結婚していない理由として「適当な相手にめぐり合わないから」をあげた人が約4割と最も多い状況である。</p> <p>【課題】</p> <p>1 出会いや結婚への支援を希望する独身者への出会いの機会の拡充</p> <p>(1) マッチングシステムの拡充</p> <p>① マッチングシステムの利便性の向上</p> <p>安芸市・四万十市のセンターでは、曜日によって利用人数にばらつきがある。出張登録会で登録しても、センターがない市町村の登録者は閲覧までにはいきつかないことがある。閲覧を重ねても、お引き合わせに結びつかない登録者がいる。</p> <p>② マッチングシステムの認知度の向上</p> <p>平成28年度の県民意識調査結果では、マッチングシステムの認知度は12.2%であるが、関心がある方（活用したことがある方も含む）は26.0%であり、乖離の実態から、潜在的ユーザーが存在している。</p> <p>(2) 出会いイベントの充実</p> <p>① イベント実施応援団の新規増加と活動支援の強化</p> <p>イベント数は増えてきたが、イベントの未実施団体が存在する（特に民間企業）。民間主催イベントは、行政主催イベントに比べ、非常管理体制や個人情報の取扱いについて不十分などところがある。</p> <p>② 少人数のグループで気軽に参加できるイベントの実施（参加の障壁を下げる）</p> <p>県の応援サイトは知っているが、出会いイベントに参加したことがない独身者が多い。</p> <p>(3) 婚活サポーターの増</p> <p>半数の市町村に婚活サポーターがいない</p> <p>2 出会いや結婚への支援を希望する独身者へのきめ細かな支援の充実</p> <p>(1) マッチングサポーター、イベントサポーター、婚活サポーターの養成とスキルアップ</p> <p>（申込みを確実に引き合わせに繋げ、さらに交際・結婚へと繋げる工夫）</p>

(個別事業の内容)

- 1 出会いの機会の拡充
出会いの機会を増やす支援
 - (1) マッチングシステムを活用した会員制の1対1のお引き合わせの実施
 - ① ouchi出会いサポートセンターにおけるマッチングシステムの運営
H28. 1. 1~ouchi出会いサポートセンター(高知センター)開設
H28. 4. 1~高知センター閲覧・検索・お引合せスタート
H28. 7. 11~安芸センター(東部支所)開設、H28. 7. 13~四万十センター(西部支所)開設
・窓口運営業務(独身者の会員登録・閲覧・検索を行う窓口の運営)
・お引合せの申込受付、引合せ場所及び1対1のお引合せに立ち会うマッチングサポーターの調整
 - ②【課題1(1)①への対応】マッチングシステムの利便性の向上
・出張登録閲覧会を強化し、登録・閲覧数を増やす(職員旅費、会場使用料等の増額)。
巡回型(地域向け): 安芸・四万十センターを月曜閉所とし、代わりにセンターのない市町村等を巡回する登録閲覧会を開催
婚活サポーター型(地域向け): 婚活サポーターのグループを作り、登録閲覧会と相談会のダブル開催(お引き合わせに結びつかない登録者へのフォローや親御さん等への相談会も併せて実施)
地域イベント型(地域向け): 市町村や観光団体が実施する地域イベントで登録閲覧会を開催
企業型(地域向け・複数企業の従業員向け): 企業等において登録閲覧会を開催
・プロフィール写真をより効果的に見せため、独身者にヘアメイクや写真撮影のワンポイントアドバイスを実施し、お引き合わせの可能性を高める(講師謝金・講師旅費の増額)。
 - ③【課題1(1)②への対応】マッチングシステムの認知度向上(広報強化)
・窓口広報(管内市町村への住民に対する広報物配布依頼、管内企業訪問)
・飲食店等にQRコード付きの広報グッズを設置(ポケットティッシュ、コースター)
・市町村や観光団体が実施する観光イベントにおいて出張相談コーナーの実施
・新聞、タウン情報誌等への広告掲載
・地域で行う福祉イベント等において出張相談コーナー実施(親から子どもに情報発信)
・メルマガやFacebook等による情報発信(マッチング登録への垣根を下げる情報発信の充実)
※H29:市町村への広報誌に掲載、出張相談コーナーの実施、新聞・タウン情報誌への広告掲載などの実施
⇒マッチングシステムの認知度(未婚者) < 県意識調査結果 >
(H28) 12.2% → (H29速報値) 25.5%
※チラシや広報グッズなどを応援団や県会議構成団体に配布する場合は、独身者等への声掛けの仕方など配布に当たっての留意点を記載したチラシも併せて配布し、独身者等への効果的な広報をお願いする。
 - (2) 応援団登録の拡大及び応援団イベントの開催に対する支援(多種多様なイベントの充実)
 - ① イベント実施応援団に対し、イベントの活性化と適正な実施を図るため、全国の様々なイベントの事例と留意点を学ぶ研修を開催
(平成29年度補正で実施する応援団交流会は、各団体の取組の情報共有と横展開を図るものであり、本研修は、その第2段階として、イベント実施応援団に対象を絞って、イベント責任者の配置、個人情報取扱い、効果的な広報などイベント開催のノウハウや留意事項を学び、民間イベントの信用力を高めていくための研修である。)
 - ② 応援団が実施する出会いイベントを県のサイトへ掲載(審査、登録)
 - ③ イベント実施を希望する企業や団体に対して、イベント企画のベースとなるイベントの組立て方や参加者の集め方などのノウハウを伝えるとともに、イベントに変化のない応援団に対しては、新たな視点を取り入れ、イベントを活性化させるアドバイザーの派遣
 - ④ イベントの司会進行、盛り上げ、参加者のフォローを行うファシリテーターの派遣(県費負担)
 - ⑤ 初回開催時に、司会料や会場使用料等に使える経費を助成し、継続的にイベント開催することができる企業や団体を支援(県費負担)
 - (3) 婚活サポーターが実施する相談者の交流の場に対する支援
※婚活サポーター: 各地域で結婚への支援を希望する独身者を応援していただいているボランティア
 - ① 独身者を支援する婚活サポーターや相談者が定期的に交流する場となる会場の確保
(交流の場の例) 独身者のお引合せを行うためにサポーター同士が集まり独身者情報を交換
 - ② 民生委員、自治会役員、JA女性部会員、教職員・県職員OB、市町村職員等に研修参加への働き掛けを行うことにより、サポーターの増を図る。
- 2 出会いや結婚への支援を希望する独身者へのきめ細かな支援
より支援を必要とする独身者に対する支援
- (1) お引合せ時の立会いや、交際中の支援を行うマッチングサポーター研修(養成とスキルアップ)の開催
※マッチングサポーター: マッチングシステムでのお引き合わせの立ち会いやカップルになった方の交際フォローを行っていただいているボランティア
 - ① サポーター養成(研修企画、募集広報、研修の実施、認定(面接審査))
 - ② サポーターの質を確保し、継続して活動するためのスキルアップ(研修企画、更新認定)
 - ③ 養成研修とスキルアップ研修をセット開催することにより、新規サポーターと継続サポーターの交流を図る。
(新規サポーターは、継続サポーターからの活動情報の提供を受け、継続サポーターは改めて基本に立ち返る研修が受講できる。)
 - ④ サポーターを養成する上での課題として、養成研修を受講しても、サポーターは県ホームページに自身の居住市町村、氏名、顔写真が掲載されるため、登録を躊躇される方がいることが挙げられる。そのため、平成30年度からはホームページへの掲載はやめるなどの改善を行い、サポーターの増につなげる。(お引き合わせ時に独身者に直接サポーターの顔写真等を確認できるようシステム改修を行う(県費対応))
- (2) イベントに参加した独身者の出会いを交際へとつなぐイベントサポーター研修(養成とスキルアップ)の開催
※イベントサポーター: 出会いイベントにおいて参加者の交流促進とカップルになった方の交際フォローを行っていただいているボランティア
- 2(1)の再掲
 - ① サポーター養成(研修企画、募集広報、研修の実施、認定(面接審査))
 - ② サポーターの質を確保し、継続して活動するためのスキルアップ(研修企画、更新認定)
 - ③ 養成研修とスキルアップ研修をセット開催することにより、新規サポーターと継続サポーターの交流を図る。
(新規サポーターは、継続サポーターからの活動情報の提供を受け、継続サポーターは改めて基本に立ち返る研修が受講できる。)
 - ④ サポーターを養成する上での課題として、養成研修を受講しても、サポーターは県ホームページに自身の居住市町村、氏名、顔写真が掲載されるため、登録を躊躇される方がいることが挙げられる。そのため、平成30年度からはホームページへの掲載はやめるなどの改善を行い、サポーターの増につなげる。

- (3) 1対1のお引合せをする婚活サポーター研修(養成とスキルアップ)の開催
 ※婚活サポーター:各地域で結婚への支援を希望する独身者を応援していただいているボランティア
 ①サポーター養成(研修企画、募集広報、研修の実施、認定)
 ②サポーターの質を確保し、継続して活動するためのスキルアップ(研修企画、更新認定)
 ③養成研修において、継続サポーターとの交流会をセット開催する。
 (新規サポーターは、継続サポーターからの活動情報の提供を受け、継続サポーターは改めて基本に立ち返る研修が受講できる。)
- (4) 高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナーにおける個別支援の充実
 (相談業務及び婚活講座とセット型の出張相談会)
 ※マッチングシステム相談対応や説明含む。
 ①高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー(こうち出会いサポートセンター)に配置した職員による独身者の相談への対応及び独身者の状況に合った事業の情報提供の実施
 ②上記①の相談対応をしている職員が、独身者が求めるニーズに合う婚活講座を企画(少人数)し、併せて相談会を行う。(このことで、自主的に相談はして来ない独身者の状況も把握し、相談業務での対応やマッチングサポーター、イベントサポーター、婚活サポーターに対する助言として活かす。)

※本県では、マッチングサポーター、イベントサポーター、婚活サポーターの3種類のボランティアの方に結婚支援を行っていただいている。どのサポーターに登録するかは個人の自由であり、1種類のみ登録、2種類登録、3種類全て登録と登録内容は様々である。

【次年度以降に向けた事業の方向性】

平成31年度以降も引き続き結婚への支援を望むより多くの独身者の希望をより早くかなえるために、マッチングシステムの認知度と利便性の向上、出会いイベントの拡充、及び婚活サポーターによる出会いに機会の拡充を進める。また、サポーターの増とスキルアップに引き続き取り組み、出会いや結婚への支援を希望する独身者へのきめ細かな支援の充実を図る。

【事業内容を検討する上で参考とした既存事業:愛媛県 えひめ結婚支援センター事業(愛結び、de愛イベント)】

【事業実施にあたっての留意点】

本事業の実施にあたっては、実施要領記載の留意事項及び結婚の希望を叶える環境整備に向けた取組の参考指針を踏まえて実施することとする。

・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標

<出会いの機会の拡充>

1 マッチングシステム

- ① マッチング登録者数【H29.12月末現在:1,009人】
H30年度:1,180人
- ② マッチングシステム閲覧数【H29.12月末現在:2,199人】
H30年度:3,020人
- ③ お引合せ申込人数【H29.12月末現在:1,670人】
H30年度:2,200人
- ④ お引合せ成立件数【H29.12月末現在 A+B=608組】
A:マッチングシステムによるお引合せ【H29.12月末現在:335組】
B:婚活サポーター引合せ【H29.9月末現在273組】
H30年度 A+B = 480組 + 610組 = 1,090組
A:マッチングシステムによるお引合せ:480組
B:婚活サポーター引合せ(過去4年の平均):610組
- ⑤ マッチングシステムお引き合わせ成立割合【H29.12月末現在 335/1,009=33.2%】
H30年度:40.7%
- ⑥ イベント参加者のうちマッチングシステム登録者及び登録したいと思っている人の割合【H29.11月末現在:70/210=33.3%】
H30年度:25%
- ⑦ 「高知で恋しよ!!マッチング」の認知度(未婚者)【H28年度12.2%】
H30年度:30%

2 応援団

- ① 応援団が地域の独身者向けに実施するイベント参加者目標人数:4,250人
- ② 次回も参加したいと思った参加者の割合:8割
- ③ イベントの参加を友人等に勧めたいと思った参加者の割合:80%
- ④ 応援団研修
・参加目標人数:105人(H30年度目標応援団登録数(イベント系応援団)106団体)
・受講者の研修満足度:8割以上
・受講者のうち「今後交流会の実施に参考となるがあった」と回答した割合:8割以上

<きめ細かな支援の充実>

1 サポーター登録者数

【H29.12月末:マッチングサポーター31人、イベントサポーター64人、婚活サポーター75人(合計170人)】
 H30年度:マッチングサポーター40人(H30当初30人+新規登録15人-登録辞退5人=40人)
 イベントサポーター60人(H30当初55人+新規登録15人-登録辞退10人=60人)
 婚活サポーター90人(H30当初75人+新規登録20人-登録辞退5人=90人)
 (合計190人)

2 サポーターの支援を受けた者の満足度(マッチングサポーター、イベントサポーター、婚活サポーター):7割以上

3 サポータースキルアップ研修

- ① 参加者数:マッチングサポーター:75人、イベントサポーター:78人、婚活サポーター:50人
- ② 参加者の研修満足度:8割以上
- ③ 参加者のうち「今後、結婚への支援を希望する独身者への結婚支援の方法について参考となるがあった。」と回答した割合:8割以上

<p>・市町村との連携・役割分担の考え方及び具体的方法</p>	<p>結婚支援事業については、市町村においてもイベント等実施しているところもあるが、まだ取組は始まったばかりで、県が主導で実施しているところである。 マッチングシステムについては、サポートセンターを高知市、安芸市、四万十市に開設し、出張登録会の開催を行っているが、高知市からの出張のみで、安芸市、四万十市からの出張ができておらず、郡部の市町村の独身者への対応が進んでいない。 よって、引き続き、県主導で事業を展開し、市町村においては在住の独身者に対して事業の周知及び広報PRとともに、マッチングシステムに関しては市町村への巡回型の出張登録・閲覧会や出張相談コーナーの開催にご協力いただく。</p>
<p>・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法</p>	<p>民間事業においては、高額な金額を収める会員に対するきめ細かなアドバイス、出会いや交際に対するサポートなど徹底したサービスが提供されている。 県においては、安価な金額での出会いの場の提供、ボランティアを活用した独身者を支援するサポート体制、独身者の相談に対する支援を行うことで、結婚の機運の醸成を図る。 独身者への相談対応の中でも、県の事業を紹介するなかで、より多くのサービスの提供を希望する独身者に対しては民間事業所との違いも含めて説明し、独身者の経済状況、結婚に対する考え方などに応じて自分に合った事業を選択してもらう。 また、県では、民間事業所を活用したボランティア養成講座やボランティアのスキルアップ研修を開催することで、民間事業所の独身者支援のスキルを学びボランティアの資質向上を図る。</p>
<p>・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) 文化生活スポーツ部 県民生活・男女共同参画課 (配慮すること) 独身者に対して、特定の価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えるようなものになっていないか、また、多様性に関する配慮されているかについて、関係部局等と定期的に情報共有を行い、適時適切な方法で事業を進める。</p>
<p>・委託契約の有無及び契約方式</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 <input checked="" type="checkbox"/>有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/>無 ----- <input type="checkbox"/>①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式等) <input type="checkbox"/>②競争入札方式 <input checked="" type="checkbox"/>③随意契約 [事業の内容:高知家の出会い・結婚・子育て応援窓口委託業務(婚活サポーター業務を除く)] (①を除く) [随契の理由: 委託予定事業者は、平成26年から本県の出会い・結婚・子育て窓口運営業務、平成28年度は企業等間コーディネーター配置事業、平成29年度からは訪問相談員の配置事業等を受託しており、結婚支援事業に精通し、ノウハウを備えているとともに、多種多様な企業等の会員で構成されていることから、本事業の実施に当たって企業、団体等の協力を得やすい。]</p>
<p>・システム等導入に係る管財部局の確認</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無: <input type="checkbox"/>有 (取組名:) <input checked="" type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有の場合の担当部局:</p>